

津島高等学校人権だより

津高人権委員会



# ひゅーまんらいつ

令和2年第3号

「我々は今日も明日も困難に直面するが、  
それでも私には夢がある」

キング牧師(アフリカ系アメリカ人のための公民権運動の指導者、ノーベル平和賞受賞)

『肌の色が違うからって、そんなことで差別しちゃいけない。人はみんな平等であり、お互いを尊重して生きていかねばならない。』この考えについては、もうみんなわかって共有しているはず…。それなのに、また悲劇は繰り返された。

※本文中「黒人」という表記が用いられていますが、人権に配慮をした本来の表記は「アフリカ系アメリカ人」です。今回はこの人種差別問題について考えるために、あえてこの表記で掲載しています。

今、アメリカを中心に世界中に広まっている「<sup>ブラック ライヴズ マター</sup>Black Lives Matter (BLM)」の運動。日本では身近に多くの黒人がいないため、実感がなかったり、正しい知識がなかったりする事で、話題に出すことすら躊躇する人も多いただろう。しかし、インターナショナルな感覚で、世界中のファッションや文化に興味のある人はやはり人ごとでは済まされない問題でもある。

「Black Lives Matter (BLM)」とは？

先月 25 日、アメリカのミネソタ州ミネアポリスで、黒人男性のジョージ・フロイドさんが白人警官に約 8 分にわたって膝で首を押さえつけられて死亡した。フロイドさんは偽札使用の疑いで警察官に逮捕されて手錠をかけられており、一切抵抗はしておらず、武器も不所持だった。この事件を受け 3 週間たった今、全米のみならず世界各地に人種差別に抗議する「Black Lives Matter (BLM)」運動のデモが広がっている。

BLM は、黒人に対する暴力と社会システム全体に広がる人種差別の根絶を訴える人権運動のことだ。和訳すると「黒人の命は大切だ」となる。この問題については国際社会に生きる私たちにとっては「知らない」ではもう済まされない問題である。

では、普段の生活で黒人と出会うことが少ない日本に住む私たちが、なぜこの BLM 運動について知るべきなのだろうか。国際社会に一切興味のない人は無視することができるかもしれない。でも若い世代で国際社会とまったく繋がりのない人なんていないのではないだろうか。例えばロック、R&B、ジャズ、ヒップホップといった音楽が好きな人、NIKE のジョーダンを愛して履いている人、ペインターのバスケットボールの絵が好きな人、テニスの大阪なおみ選手や NBA 入りを果たしたバスケットボールの八村塁選手を応援している人、アフリカ柄の服やアイテムをオシャレだと感じる人。もし、どれにも当てはまらないにしても、これからますますグローバル化が進む時代に生きる私たちは、この機会に知って考えることが必要である。

2019 年の国勢調査によると、アメリカの人口は 60% 以上が白人で、黒人はわずか 13.4% に過ぎない。しかしアメリカの先住民はネイティブ・アメリカン（裏面で説明）である。15 世紀にヨーロッパ系の白人が北米大陸に入植し、先住民の土地と人権を奪ったのだ。それ以降、世界中を白人が支配したことで、今、現在に至るまで、日本を含む全世界で、文化や思想、美意識の基準は白人とされてきた。その一方で、黒人には「怖い、野蛮、貧しい、犯罪率が高い」といったネガティブなイメージが付きまわってきたのだ。姿形を

変えながら、未だに黒人への暴力と差別は残っているのだ。

約 400 年前の 17 世紀から、アメリカにはアフリカ大陸からアフリカ人が奴隷として船で強制連行された。奴隷制度は 1865 年のアメリカ合衆国憲法修正第 13 条により廃止されたが、差別は根深く残された。

さらにアメリカ南部の州では有色人種による一般公共施設の利用を禁止・制限する法律、**ジム・クロウ法**が 1964 年まで施行されていた。今からたった 56 年前まで、人種隔離が法律で認められていたのだ。教育も仕事も選挙権も土地や家を所有する権利も何もかもはく奪された黒人が、白人と同じ生活をするには不可能だったことは明らかで、貧困や不満から罪を犯した多くの黒人が不当に逮捕・投獄されたのだ。そんな、国や社会からの支援が全くない状況からでも、黒人は生きる尊厳を自力で取り戻し、日々の暮らしを少しずつ積み上げ、数々の素晴らしい文化をこの世に生み出してきた。

それなのに 2020 年になった今でもなお、黒人の命が非人道的に扱われているのだから、彼らが怒りと共に「**黒人の命は大切だ**」と叫ぶのは当然で、黒人以外の人々は彼らの声を尊重しなくてはならないのだ。私たちも、アジア人であることから差別を受けることはたくさんある。しかし、道を歩いているだけで、またはフードをかぶっているだけで「犯罪者」とは誰にも言われなし、射殺されることもない。黒人は常にその恐怖と向き合い、自分たちの子どもにもそんな悲しい事実を教えなくてはならないのだ。

### 「私たちが今すぐにするべきこと。」

それは、BLM の運動の意味を理解し、人種差別問題について【知る】こと。周囲の友達や親が知らないのであれば、積極的に話をする。一人でも多くの人々が正しい知識を持つことが人種差別根絶へ繋がるのだ。「まだその話しているの？」と友人から言われても、その時は「人種差別がなくなるまで話し続けるよ」と答えよう。

VOGUE JAPAN (ヴォーグジャパン)、SUPR (シュプール) 等の有名ファッション誌のライター  
Uno Miko (ウノ ミコ) さん VOGUE GIRL (ヴォーグガール) 電子版 記事より抜粋

**BLACK  
LIVES  
MATTER**

BLM 運動のロゴマーク

### 【ネイティブ・アメリカン】とは…

ネイティブ・アメリカン

(Native American) は、アメリカ合衆国の先住民族の総称である。1492 年にヨーロッパ系白人が現在の北米地域に到達する以前に、アメリカに居住していた民族を総称している。

### 人種差別問題の内容を取り扱っている映画紹介コーナー

「グリーンブック」

(2018 年アメリカ)

「ドリーム」

(2017 年アメリカ)

「ヘルプ」

(2011 年アメリカ)

### 本日の感想コーナー


( ) 年 1 組 ( ) 番 氏名 ( )